

第21期

平成15年5月2日～平成19年5月1日 [平成15.4.13選挙執行] 定数68名

この期の 主な出来事

- * 鳥インフルエンザ発生(平成16.1)、新潟県中越地震発生(平成16.10)、耐震強度偽装事件発覚(平成17.11)
- * 北海道日本ハムファイターズ発足(平成15.8)札幌市自治基本条例可決(平成18.10)、札幌市民会館閉館(平成19.3)

44年ぶりに民間出身の市長誕生

平成15年4月に行われた統一地方選挙において、札幌市長選は、法定得票数以上の票を獲得した候補者がいなかったため、同年6月に政令指定都市ではじめて「再選挙」が実施され、44年ぶりに民間出身の市長が誕生しました。また、市営バスの民営移行、敬老パスの有料化など、本市にとって大きな転換期となる4年間でありました。

一方、市議会では、議員提案による政策条例「札幌市たばこの吸い殻及び空き缶等の散乱の防止等に関する条例」(通称～ポイ捨て等防止条例)、「札幌市住宅耐震化促進条例」、「札幌市文化芸術振興条例」を制定しました。



第21期市議会議員(平成15年5月15日)



食と観光情報館オープン
(平成19.2)



FISノルディックスキー
世界選手権札幌大会開催
(平成19.2)



モエレ沼公園
グランドオープン
(平成17.7)



子ども向け市議会ホームページ
「なるほどギカイ」公開(平成18.1)

第22期

平成19年5月2日～平成23年5月1日 [平19.4.8選挙執行] 定数68名

この期の 主な出来事

- * 日本郵政公社民営化(平成19.10)、北海道洞爺湖サミット(平成20.7)、東北新幹線青森まで延伸(平成22.12)、東日本大震災発生(平成23.3)
- * 本市の人口190万人突破(平成21.5)、大田(テジョン)広域市との姉妹都市提携(平成22.10)

本市の動向

世界的な景気低迷の影響で市税収入が伸び悩み、福祉・医療分野における扶助費など義務的経費の支出が大幅に増加し、本市は非常に厳しい財政運営を強いられました。このような状況のもと、平成21年7月には昭和47年から無料としていた家庭ごみの有料化を盛り込んだ「新ごみルール」を実施し、ごみ排出量は大幅に減少しました。

市議会では費用弁償の廃止、政務調査費の手引きの策定および政務調査費の領収書などの全面公開、本会議のインターネット録画中継の実施など、市民に分かりやすい開かれた議会づくりを進めました。



第22期市議会議員(平成19年5月2日)



大田広域市との姉妹都市提携
(平成22.10)

札幌駅前通地下歩行空間
開通(平成23.3)



札幌オータムフェスト(平成20.9)

札幌市民ホールオープン
(平成20.12)



創成川公園オープン
(平成23.4)